

新大

キャンパスライフをもっと豊かに

広報

| 特集 |

コロナ禍での新大生に聞いてみた！

コロナ禍での授業について聞いてみた！ —教員インタビュー編—

コロナ禍での自粛中何してた？ —新大広報スタッフ編—

Interview!! 自分の居場所 学生編

チャレポ!! (Challenge & Report) 映画倶楽部

ひとりdeli きのことペーコンのアービジョ

冬号ひとりdeli Twitterまとめ



No.216

[2020年 冬号]



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

2/17▶
学生向けに注意喚起を実施

2/28▶
令和元年度卒業式の中止について通知
課外活動団体での集団行動の中止を要請

3/4▶
課外活動の全面停止について通知

3/13▶
令和2年度入学式の中止を通知

3/18▶
授業開始の延期について通知

4/20▶
第1ターム開始
対面授業は行わず、オンライン会議システム・動画配信サービスを利用したオンライン授業を実施。

5/25▶
新型コロナ対策緊急学生サポート窓口の設置
新型コロナ対策緊急学生サポートパッケージとして修学・学生生活支援、経済支援を実施。

6/9▶
課外活動全面停止の条件付き解除
新型コロナウイルス感染症対策を作成・提出し、学務部学生支援課から許可を得た団体は課外活動を行えるようになった。

6/16▶
第2ターム開始
オンライン授業は原則継続となったが、一部の実験・実習等科目を対面型で実施。

8/21▶
令和2年度秋季卒業式及び秋季入学式の中止決定

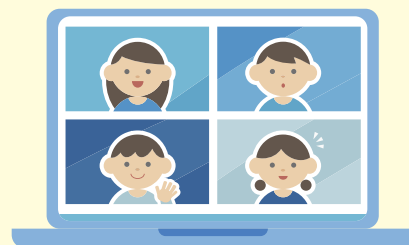
10/2▶
第3ターム開始
感染防止対策を実施したうえで一部の授業において対面授業を実施。

10/17・18▶
新大祭開催
オンライン形式で開催。

コロナ禍での

新大生に聞いてみた!

この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会的に大きな影響が出ました。新潟大学でも4月にオンライン授業への移行が決定するなど様々な面で大きな変化があったと思います。
そんな中、新大生はどのように過ごしていたのか調査すべく、多くの新大生に協力してもらい、コロナ禍に関してのアンケートを実施しました。



Q1

コロナ禍で困ったことがあれば具体的に教えてください。

PC画面ばかり見てるので目が疲れる。
(工1、すずめ)

実家に帰っており、下宿先のアパートに住んでいないのに、家賃(4万円)だけ取られて行くこと。
(教育2、スパー)

友達と会えないため、みんながどれくらいインターンに行っているか、就活準備をしているかなどの情報交換が出来なかったこと。
(農2、れむ)

自炊をしない学生にとって、学食は心強いですね!

学食が食べられず、栄養バランスが偏り肥満体型に!!!
(人文4、シュートニック)

バイト先が休業になった人も
いるみたいですね...

収入源が無くなったこと、人と会わなくて鬱々したこと(経済3、しよー)

気軽に遊びに行けなくなった。今年行くはずの旅行の予定が潰れた。実験の講義も非対面となり理解が難しくなったと感じた。(農3、しんご)

友達にも会う機会が減って1人でオンライン授業のみ受けるのは辛くなってきた
(工2、大学生A)

Q2

コロナ禍で新たに始めたことがあれば具体的に教えてください。

「おうち時間」が増えている今、たくさん本を読む習慣をつけるのはいいかもしれませんね。

よく本を読むようになった
(工1、stooop)

農学関連の専門書を読む。(農3、腰光)

長期のオンラインインターンシップ
(工3、さんず)

家にいる時間が長いのでハンドメイドを始めました。
(法2、にんじん)

料理
(法2、びよっこ)

筋トレを始めた人はかなり多かったです。筋力を保てるように努力しましょう!

筋トレ
(創生3、0115)

● 社会の動き

1/16▶

国内で初確認

2/3▶

乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港入港後、172例の感染事例が判明。

2/13▶

国内で初の死者

2/29▶

新潟県内で初確認

3/11▶

世界保健機関 (WHO) がパンデミックを宣言

3/24▶

東京オリンピック・パラリンピックの開催の延期が決定

4/7▶

7都府県を対象に緊急事態宣言が発令

東京、神奈川、大阪など感染拡大が顕著な地域が対象となった。

4/16▶

緊急事態宣言が全国に拡大

GWを控え、全国的な感染拡大を防ぐために実施。

4/20▶

経済支援を目的とする給付金の支給が閣議決定

全国民を対象に1人当たり10万円を支給。

5/4▶

緊急事態宣言の期間を5/31まで延長することを決定

5/14▶

感染拡大が顕著な8都道府県を除き、緊急事態宣言解除

5/25▶

全国で緊急事態宣言解除

7/22▶

ウイズコロナの時代における「新しい生活様式」に基づく旅のあり方を普及、定着させるため、Go To トラベル事業第1弾開始(旅行代金総額の35%を割引。)

10/1▶

Go Toトラベル事業第2弾開始(旅行代金総額の35%割引+旅行代金総額の15%を地域共通クーポンとして付与)

Q3

コロナ禍が落ち着いてからやりたいこと、行きたい場所などあれば教えてください。

韓国にいきたい
(人文2、だんご)

時間のある大学生活でなかなか海外へ行けないのは辛いですが、この情勢が落ち着いてから海外へ行ってみたいですね!

日本一周!
(農1、米食い虫之助)

ヨーロッパに旅行してみたいです。これは、自分が海外未経験であるため、一番時間と体力があるであろう大学生のうちに、文化の異なる場所で、比較的長めの旅行をしたいとずっと思っていたからです。(農1、lego)

混雑している電車内や暑い日にマスクしてるのが辛いのでマスクを外したい。(理2、並々ならぬ波)

新潟県内をめぐって写真を撮りたい。
(人文3、味なしカルボナーラ)

今の観戦ルールでは大声は出せませんが、気持ちは選手に伝わってるはず!

東京や大阪など大都市への旅行(人文1、Ura)

スタジアムで大きな声でサッカーの応援がしたいです
(人文1、むっちゃん)

フェスとかに行きたいです
(工3、プリ座右衛門)

実家までかなり遠いので大学生らしく青春18きっぷやフェリーを駆使して色々寄り道しながら帰省したいです。
(理1、ヒモ太郎)

Q4

今の現状について、何か言いたいことがあれば教えてください。

大学は対面授業を再開してほしいです。もう世の中は動いています。動いていないのは大学だけです。自分は学校に行って、普通に授業を受けただけです。
(教育1、ごはん)

旅行にいきたい!
(人文2、もち)

講義は原則非対面ですが、実習などで対面の演習が始まりましたね。

友達みんなに会いたい(工3、P)

対面授業よりもオンライン授業の方が良いと思った。通学よりも効率的であると感じる。(工3、アルパカ)

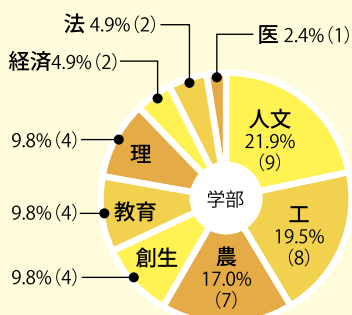
オンライン授業と、対面授業。それぞれ長所短所あると思うので、全面〇〇ではなく、授業の性質に合わせて使い分けて欲しい。(創生4、おのりん)

ワクチンができるまでどうにか耐え忍ぶしかないと思うので頑張りましょう。(農1、いち)

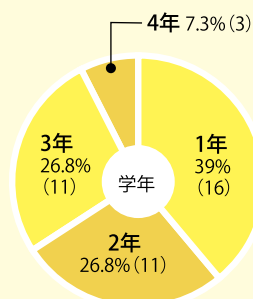
まとめ

いろいろなことに制約がかかりこれまでどおりの生活ができない中でも、新たに何かを始めるなど前向きに動いている人もいました! 今はこの状況を受け入れ、他の人が新たに始めたことを参考に、今できることは何か考えてみましょう。

〈回答者の属性〉



回答総数 41人





人文学部
齋藤 陽一 教授
サイトウ ヨウイチ

●担当授業
表現プロジェクト演習、ロシア語インテンシブなど。専門はロシア文学・ロシア演劇。

コロナ禍での

授業について聞いてみた!

教員インタビュー編

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、新潟大学では今年度の授業を原則として非対面で行っています。では、昨年度まで対面で行われていた授業は、今年度どのように開講されたのでしょうか。今回は人文学部で「表現プロジェクト演習」などを担当している齋藤陽一教授に、非対面授業による影響や工夫を伺いました。

非対面授業はどのように行っていますか?

Zoomを用いて、学生はマイク、ビデオオフの状態で行っています。そのため、演劇の授業での発声練習は私が実践し、各自でやってもらっています。

非対面授業により、授業への大きな変化はありましたか?

演劇の授業では昨年度まで映像を多く見せていましたが、映像の視聴環境が整わないため、今年度は映像を見る時間を減らしました。また、全ての授業終了後に最終課題として発表するものを、実際の演劇から声のみのラジオドラマに変更しました。

わたしはロシア語の授業も担当していますが、そちらの授業では、学生ひとりひとりの解答を添削しました。時間はかかりますが、理解度を確かめることができ、よかったと思います。



研究への影響はありましたか?

演劇は東京で上演されるものが多いのですが、見に行くことが難しくなっています。また、国立国会図書館は予約制となっているため、行くことが難しく、必要な資料をコピーできずにいます。

非対面授業によるメリットは何だと思えますか?

学生は朝早い授業でも家から簡単に参加しやすくなったのではないのでしょうか。私自身、自宅から授業をするため大学への移動時間が削減されました。

今回の経験を今後の「表現プロジェクト演習」にどのように活かしていきたいですか?

Zoomで行う授業のため、劇場で行う普通の舞台ではなく、Zoomの空間だからこそできることを探しています。非対面授業という制限があるからこそ生まれた、新たな工夫や発見を活かしたいです。

受講生の声

非対面授業ですが、学生が主体の授業のため、コミュニケーションを多くとる必要があります。最後にグループでラジオドラマを作るために、学生同士のコミュニケーションが重要になりますが、非対面授業ではとてもやりづらいです…。



スタッフ感想

対面授業と比べるとスムーズにいかない部分もあるようですが、非対面授業を進めていく中で生まれた新しい発見を活かせるように工夫しながら、授業を行っている様子がうかがえました!

コロナ禍での

自粛中何してた？

新大広報スタッフ編



池田 日向子 (人文2年)
イケダ ヒナコ

私は実家生なのですが、いつも1時間半以上かけて大学に通っていました。そのため、オンライン授業になったことで家にいる時間が増え、料理をする機会も増えました。今は毎日家族全員分の夕食を作っています。私が意識していることは、栄養バランスの取れたものにすることや、品数が多くなるようにすることです。毎日料理をしているおかげで手際がよくなり写真の料理も短時間で作ることができました。

私はこの新大広報でひとりdeliという料理コーナーを担当しているのですが、その調理にも活かすことができています。ぜひひとりdeliのページも見てみてください。



新型コロナウイルス感染症の影響による自粛期間中、新大広報夏号も休刊を余儀なくされました。

そんな中、スタッフはどのように過ごしていたのでしょうか？スタッフの自粛生活をちょっとだけ紹介します！



梅津 秀平 (教育2年)
ウメツ シュウヘイ

外出もあまりできなかったので、TRPG (テーブルトーク・ロールプレイングゲームの略) で友達と遊ぶ機会が増えました。サイコロを用いるボードゲームのような物ですが、オンライン上のシステム (写真) や、LINEなどを活用し、顔を合わせて遊ぶ場合と大差なく楽しむ事が出来ます。

普通だとテーブルを囲んで行うため、準備にも時間がかかり、ゲーム内での処理や、サイコロを多数振った時の出目の計算など、時間がかかる要素が多くて遊びにくいのですが、オンライン上ではシステムが自動計算してくれるため、気軽に遊びやすくなりました。しかし、実際に投げるサイコロに一喜一憂するのもTRPGの醍醐味だと思うので、コロナが終息したら、ぜひ友達と顔を合わせて遊びたいところです。



今井 英 (人文2年)
イマイ ハナ

観葉植物を育てはじめました。

4月頃、100円均一ショップで2種類の植物を購入したことがきっかけです。今ではサボテンや多肉植物など、様々な種類の植物を育てています。観葉植物の魅力は、まず、緑があることで、その場所が鮮やかに感じられることです。また、育てていくなかで、植物がすくすくと生長しているのを実感出来るのも、楽しさのひとつです。家の中で過ごす時間が以前と比べ増えましたが、緑のある暮らしになって、毎日こころが癒されています。



布施 英梨花 (創生2年)
フセ エリカ

授業がオンラインになったのでオンライン授業を受けるための環境を整えました。プログラミングなど、Zoomの画面を見ながらパソコンを動かすような講義を受けやすいように、テレビをモニター代わりにして接続しました。テレビ画面が大きくて便利なので、1画面でいいときには、テレビと外付けキーボードでデスクトップパソコンのように使っています。外付けキーボードのタイピング音がお気に入りです。

また、モニター付きのスマートスピーカーで家の中の家電を操作するようにして快適な自室を作りました。自室の居心地が良すぎていくらでもいられそうです。



自分の居場所

— 学生編 —

大学生を送るうえで、やりがいや目標を持って活動している、輝く新大生を紹介するこのコーナー。今回は自分も周りも活き活きさせることを目指して、長期インターンを頑張っている創生学部の新大生赤塚琳さんにお話を伺いました。

仲間を見つけて行動してみよう！



創生学部2年

赤塚
アカツカ

琳 さん
リン

- 東京都出身
- 好きなこと：人と話すこと、読書
- 新大の好きな場所：総合教育研究棟にある創生学部の学修室。同じ学部の人と話をしながら勉強ができるから。

みらいず works

みらいずworksは、2012年に設立された新潟市西区を拠点に活動する教育支援のNPO法人（2016年、任意団体からNPO法人化）で、「自分から自分らしくみんなとともに、社会をつくる人を育てる」をミッションに、中高生に向けたキャリア教育、探究的な学習の授業支援を主な活動としています。

活き活きさせられるような
生き方をしたい！

— 現在、長期インターンを頑張っていると同じました。具体的にどんな活動をしているのかを教えてください。 —

私は、教育系NPOの「みらいずworks」で長期インターンを行い、今は専属の学生スタッフとして活動しています。ここでは「自分が自分らしくみんなとともに社会を作る人を育てる」というスローガンのもと、キャリア教育などを行っています。私は、地域課題を解決するために外へ出て様々な人の話を聞いたり、自分の生き方を考えるワークをしたり、中学校・高校に赴いて先輩として話をさせてもらったりしています。

— なぜこの活動をしようと思ったのですか？ —

私には、「自分も周りも活き活きさせられるような生き方をしたい」という大きな軸があります。これは通学のために毎日満員電車に乗っていた高校生の時、覇気のない大人の顔を見るたびに「もっと楽しく生きられないのかな」と疑問に思ったことがきっかけになっています。私は「活き活きしている人」を「自分のやりたいことに向かって頑張っている人」だと考えているので、やりたいことを応援したり、やりたいことを見つけていない人のサポートをしたいと考えています。これを達成させるための手段として、今はみらいずworksで働いています。

コーチングが

人生を変えてくれた

— 今の活動でも必要不可欠だと思いますが、人と話すことが好きだと伺いました。

その原点となるものは何ですか？

実は昔から人と話すのが好きというわけではなかったです。自分から主体的に行動し、様々な大人や同年代の人と会う中で、意外と面白い人たちがたくさんいるんだなあと気づき、「人の話を聞かないのはもったいない」、「人の面白い部分を引き出したい」と思うようになりました。この過程で、相手の思いを引き出すための「コーチング」にも興味が出てきたので学び始めているところです。



活動中に20歳の誕生日を迎え、皆さんにお祝いをしてもらいました！

— 大学生の中には行動することを恐れる人も多いと思いますが、自ら動くようになったきっかけは何ですか？

高校生の時、将来について悩んでいた際に父親の知人にコーチングをしてもらったことがきっかけです。コーチングしてもらう中でだんだんと自分のやりたいことが分かってきて、その方から「やりたいことがあるならやってみなよ」という感じで肯定していただきました。一人でも自分のやりたいことを肯定してくれる存在がいることはとてもありがたく、このことが私の人生を変えてくれました。

責任感をもって 業務に取り組む

— それでは、赤塚さん自身は今、みらいずワークスで頑張っていることを教えてください。

今までは補佐的な立場でしたが、最近では報告書の書き方などの業務を教えてもらっており、自分でも仕事をできるように頑張っています。

活動から5か月が経ち、インターン生から学生スタッフに昇格させてもらいましたが、そのことにより、以前よりも事業に対してコミットする量が増えました。それと同時に責任

感が大きくなったので、よりいっそう頑張りたいです。

また、社会人の方から様々な仕事を任せられることがあります。任されることで「自分も社会人と同じレベルに到達しなければ」と感じ、成長せざるを得ないことに気付きました。最初は大変だなあと思うこともありましたが、最近では自分の能力を伸ばしてくれものだと思えるようになってきています。

— うまくいかないこともあると思いますが、その時はどのような心構えで臨んでいますか？

思ったよりうまくいかなかったなと思うときはありますが、その後どのように行動するかが大事だと思います。失敗をそのままにせず、それを生かしていかに失敗を取り戻すかが大切です。短期的に見れば失敗に見えても、中長期的に見れば成功に変えられるものです。努力してみれば、あとから「こんなことがあったね」と笑い話になることもよくあります。

— 活動の中で、印象的だった出来事がありますか？

子どもと接するときにはできるだけフランクにするように心がけています。そのためか、私の話に対して気軽に質問してくれることが多いです。特に、小学生の前で紙芝居を読み聞かせした後、わざわざ感想を言いに来てくれた児童がいました。年上の人に声をかけるのは勇気がいると思うので、とても嬉しかったです。

— この活動を生かして、今後の学生生活で頑張りたいことはありますか？

今後のもっといろいろな人と話したいです。何をしたいかわからないという人は多いと思いますが、そんな人とこそ対話をし、一緒にできることがあればやってみたいのです。何かやらなければいけないということは決まてないですが、やりたいことができるきっかけを見つけてあげたいですね。

肯定してくれる仲間を見つけて、動いてみよう

— 新大生へのメッセージをお願いします。

大学生の中には、何をしたいのかわからない、何かをしたいと思っても何かを恐れて動けない、という人が多いですが、行動してみないとやりたいことは見つかりません。まずは、やりたい自分に近いために何かをやってみてください。一人でもいいので、自分のやることを肯定してくれる人を探すとよいでしょう。そして、やりたいことが見つかったら実際にやってみてください。

スタンプ感想

高い意欲を持って活動している赤塚さん取材してみたことで、僕自身も躊躇せずに行動すること心掛けようという気持ちになりました。また赤塚さんとお話をさせていただいて、活き活きと動けるような原動力にしたいです！

新大広報学生スタッフが、新大の部活・サークル活動にチャレンジ! レポート! 略してチャレポ!! 一ですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実際に活動場所へお邪魔しての取材ではなく、メールでのやり取りで取材させて頂きました♪



- 部員数／2020年11月時点で68人。
- 活動日時
例年は毎週火曜日に部会を開いていたが、現在は不定期に開催。
撮影の日程はメンバーと話し合って調整する。
- 活動場所
部会はZoomで行う。
撮影は屋外や公民館のホールなどのソーシャルディスタンスを保てる場所で行っている。
- Twitterアカウント／@ShindaiCFC

映画倶楽部へようこそ!



●映画倶楽部 部長
小林 岳大 さん(人文学部3年)
コバヤシ タケヒロ

※新型コロナウイルス感染症流行前に撮影

Q 映画倶楽部の活動内容について教えてください。

主に自主映画の制作をしています。企画から制作までチームで行って完成した作品は上映会を開き、部員のみんなで鑑賞します。
また例年だと、バーベキューや合宿、飲み会といった、様々なイベントが月に一回程度ありました。

Q 映画倶楽部の特徴や魅力は何でしょうか。

本格的な機材を使用して映画を撮影するという、珍しい体験ができることと、自分の頭の中で思い描いた世界を具現化するチャンスがあるところです。映画製作では困難が立ちほだかる事もありますが、試行錯誤して映画を完成させる喜びや、上映会でそれを鑑賞した時の達成感は一度味わうと忘れられないものになります。製作を通して部員同士の団結が強まる事も魅力のひとつだと思います。

また、映画製作以外のイベントも和気あいあいとした雰囲気で行っています。映画好きの部員が多いので、映画談義に花が咲くこともしばしばあります。もちろん、面白そうだから映画倶楽部に入部したという部員も多いため、入部のハードルは低いものとなっていると思います。

Q 新型コロナウイルスの流行によって、活動にどのような変化があったのでしょうか。

対面での活動が禁止されていたので、今までチームで集まっていた映画の撮影ができず、ほとんど何も活動できない状態が続きました。現在では、感染症対策を十分に取って撮影を行っています。ソーシャルディスタンスへの配慮や、教室の使用制限などの影響で、思うような撮影ができな事もありますが、それでも、部での話し合いなどはオンラインで行うようにするなど、全員で知恵を絞り、創意工夫をしてウイルスの影響を乗り越えています。

「黎明祭」の中止もあった、今年は新入生に入部を呼びかける機会が減ってしまったことも大変でした。そのため、オンラインでの新歓活動にも力を入れていました。

Q 部長さんが一番思い出している活動は何でしょうか。

夏休み中に、一週間かけて映画を撮影した事です。私は役者として参加したのですが、この一週間の間は毎日メンバーと一緒に活動していたため、とても濃密な時間を過ごす事が出来ました。

撮影中はみんな必死で、撮影が終わるころにはクタクタに疲れてしまいましたが、完成した作品を見ると、その時の頑張りが楽しさが思い出されて「頑張ってた参加して良かった」という気持ちになります。



※新型コロナウイルス感染症流行前に撮影



映画倶楽部さんの活動の様子をお見せします！

今回は、映画倶楽部のみなさんをお願いして、活動の様子の写真を提供していただきました。

写真からも部員同士の仲の良さが強く伝わってきて、掲載する写真の選定がとても大変でした。

撮影の様子を見せて下さい！

前ページのインタビューからも、部長さんの映画に対する熱い想いが伝わってきましたが、実際の撮影の様子を見ると、映画倶楽部全体でその思いが共有されていると感じる事が出来ます。

※新型コロナウイルス感染症流行前の写真です。

現在では、ソーシャルディスタンス等に配慮した撮影を行っています。



新型コロナウイルス感染症にも負けない、強い団結力が映画倶楽部さんにはありました。

新潟大学の構内全体をフルに活用！

講義室だけではなく、屋外で撮影が行われることもあります。

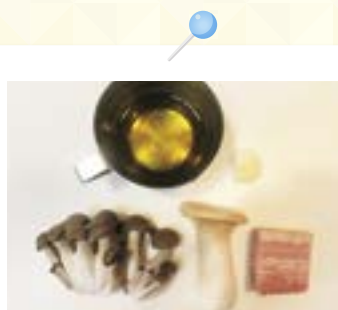


1人で ← 大勢で
真剣に取り組む ← 気楽に取り組む
切磋琢磨 ← 団結が深まる

このコーナーでは、新大生のための簡単なレシピや食に関するお役立ち情報をご紹介します。今回は、オンライン飲み会のおつまみに便利なアヒージョをご紹介します！簡単に作れるのに味はおしゃれで本格的です。飲み会仲間に褒められること間違いなし！



オンライン飲み会のおつまみにぴったり！ きのこベーコンのアヒージョ



材料(1人分)

お好みのきのこ……………100g ……40円
ベーコン……………25g ……35円
オリーブオイル……………50g ……40円
にんにく……………1片 ……10円
塩、ブラックペッパー

(参考価格) 約**125円**

作り方

1 にんにくを切る

にんにくを縦半分に切って芯を取り除き、薄切りにする。

2 具材を切る

きのこは食べやすい大きさに切り、ベーコンは短冊切りにする。

3 フライパンを火にかける

フライパンにオリーブオイルと1を入れて弱火にかける。

※にんにくは熱いオリーブオイルに入れたら焦げてしまうため、必ずオリーブオイルを熱する前に入れる！

4 具材を加える

にんにくに色がついてきたら、フライパンに2を入れて弱火のまま熱する。

5 味を整えて完成！

具材に火が通ったらブラックペッパーと塩で味を整え、皿に盛り付ける。

※中央にパセリを添えると高級感UP！



かんたんレシピをご紹介します！



コラム
\\ /

最近、欧風居酒屋やバルでよく見かけるアヒージョですが、言葉自体は、聞きなれないものだと思います。アヒージョとは、本来、スペイン語で「刻んだニンニク」、「ニンニク風味」を意味し、ニンニクで香りをつけたオリーブオイルで具材を煮込むスペイン料理です。スペインでは料理名を指すものではないので、「(食材名) アル アヒージョ (al ajillo)」となるようです。煮込む具材はシーフードミックスでもなんでもOK！スペインで愛されている伝統料理「アヒージョ」を、皆さんもぜひお家でパンやパスタにつけて楽しんでみてください♪

ひとりdeli Twitterまとめ

新大広報の夏号は休刊となってしまいましたが、
その間新大広報の公式Twitterで「ひとりdeli Twitter版」として活動していたことを知っていますか？

このページでは、Twitterに掲載した「ひとりdeli Twitter版」のレシピの中から、
簡単に作ることができるものを厳選して紹介します！ぜひ一度挑戦してみてください！

電子レンジで簡単！ カレーリゾット



●材料(1人分)

米……………85g
カレールー……………20g
水……………400ml
卵……………1個
(粉チーズ、パセリ…少々)

作り方

- 1 耐熱皿に米、水、カレールーを入れ、電子レンジで600Wで15分加熱する
- 2 沸騰したお湯に卵を入れて温泉卵を作る
- 3 1をよく混ぜて器に盛り、中央に2のをのせる
※お好みで粉チーズやパセリをかけても！

フライパン不要！ ポップコーンシュリンプ



●材料(1人分)

むきエビ……………1パック
マヨネーズ……………大さじ2
パン粉……………大さじ5
塩胡椒……………少々

作り方

- 1 むきエビ、塩胡椒、マヨネーズをボウルに入れて混ぜ合わせる
- 2 1にパン粉をつける
- 3 オーブントースターの天板にアルミホイルをしき、2をのせて10分ほど焼く

新大広報公式Twitterでは、もっとたくさんのレシピを見ることができます。
気になった方は是非新大広報公式Twitterをチェック！

→新大広報 @NUmagazine2



編集後記

新大広報は、新型コロナウイルス感染対策のため、通常通りの活動を見合わせていました。その影響で、夏号を休刊したことから、春号以来の発行になります。コロナ禍において様々な制約がありますが、その中でも新大生の皆さんに、様々な情報をお送りできるのはうれしい限りです。

今号では新型コロナウイルス感染症に関する情報を中心にお送りしました。新型コロナウイルス感染症で学生生活がどうなったのか記録としても残る貴重なものです。もちろん、普段の生活に役立つ情報もいつもと変わらない新大広報らしい情報もお送りしていますので、ぜひお読みいただき、大切に手元に残しておいてください。

また、Twitterも開設しています。定期的に情報を発信していきますので、そちらもぜひよろしくお願いします。

新大広報編集長 鈴木 悠希

学生スタッフ

創生学部3年 鈴木 悠希	人文学部2年 今井 英
工学部3年 鈴木 蒼生	人文学部2年 池田 日向子
創生学部3年 小野木 靖華	教育学部2年 梅津 秀平
法学部4年 目黒 恵梨	法学部2年 藤田 樹
創生学部2年 布施 英梨花	

職員スタッフ

学生支援課 菅原 瑠璃香	広報室 春日 智啓
-----------------	--------------

本紙掲載の表示学年は、すべて令和2年12月現在のものです。

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。
■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

2020年 冬号 [No.216]

2020年12月発行

編集・発行／『新大広報』学生スタッフ

新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷／(株)第一印刷所



新大広報



公式Twitter

もっと新大広報を知りたいあなたに! 新大広報公式ツイッターアカウントをご紹介します!

紙面に載せきれなかった取材の裏側や、制作の様子を随時、つぶやいていきます。

さらに、動画もツイートしていきます!

ぜひ、フォローしてください ♪



スタッフ
募集!!

私たちと一緒に新大広報を作りませんか?

新大広報では随時、学生スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

<応募方法>

下記のメールアドレス宛てに

- ①学部・学年・学籍番号・氏名、
- ②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

新大広報編集室

nu-press@adm.niigata-u.ac.jp



新大広報 Back Number

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新大広報

検索

Follow us!

新大広報公式
Twitter



新潟大学公式SNS



Twitter



Instagram



Facebook

新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>